

プログラム・抄録集 訂正

頁	演題	誤	正
11		一般口演の発表時間は、15分(発表10分、質疑2分)	一般口演の発表時間は、15分(発表12分、質疑3分)
14	YA-9	(タイトル) GSTM1 および GSTT1 の Null 型頻度は緯度に対して逆の相関を示す	解毒酵素遺伝子 GSTM1 および GSTT1 の Null 型と緯度：GSTM1 および GSTT1 の Null 型頻度は緯度に対して異なる勾配を示す
25	P-28	韓国人の 55 と 7%・・	韓国人の 55%と 7%・・
29	S2-3,4,5	3. 古気候モデリングによる人類学研究 ○陳永利(東大)、阿部彩子(東大、海洋研究開発機構)、大石龍太(東大) 4. 放射性炭素年代データを用いた古人口変動推定 ○大森貴之(東京大・博物館)、米田穰(東京大・博物館)	3. 花粉分析に基づく植物機能タイプの復元 ○Obrochta Stephan(東京大)・川幡穂高(東京大)・横山祐典(東京大) 4. 古気候モデリングによる人類学研究 ○陳永利(東大)、阿部彩子(東大、海洋研究開発機構)、大石龍太(東大) 5. 放射性炭素年代データを用いた古人口変動推定 ○大森貴之(東京大・博物館)、米田穰(東京大・博物館)
93	S4-2		抄録を以下に差し替え。
	公開シンポジウム	挨拶 日本人類学会会長 金澤栄作	挨拶 日本人類学会会長 金澤英作

尻労安部洞窟遺跡出土の後期更新世哺乳類化石

—堆積物の精密水洗によって得られた化石の研究—

○河村善也、村田 葵(愛知教育大)

Late Pleistocene mammal remains from the Shitsukari-Abe cave site, Aomori Prefecture: A study on the remains obtained by fine-mesh screen washing

Yoshinari KAWAMURA, Aoi MURATA

尻労安部洞窟の調査で採取された堆積物を 0.5mm 目の篩を用いて精密に水洗した結果、ある程度までの同定可能な哺乳類化石が現在までに約 5900 点得られた。そのうち完新世にあたる 1~4 層のものは約 4600 点で、後期更新世にあたる 13~15 層のものは約 200 点である(5~12 層は完新世~後期更新世で、約 1100 点)。本講演では、後期更新世の層準から得られた化石群集の特徴をより上位の層準のものと比較しながら説明する。また東北地方の他の産地の後期更新世の化石群集との比較や津軽海峡にまつわる生物地理の問題、この遺跡の化石研究の今後の展望や課題についても述べる。